

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		bamboo宇宿				公表日	2026年 2月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・小集団活動では、子どもたちの状態に応じて、職員の人数を相談できている。	・職員の配置が過剰になりすぎないように、今後も配置数を検討していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			・マーク等の視覚支援を用いて対応しているが、定期的な見直し・張り替えを行う必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・昨年度と同様に評価表の意見を職員全員に周知し、共有・改善する機会を作る。職員の質の向上、業務改善を図る。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・相談できる環境にある（雰囲気）。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・第三者評価は実施できていない。外部講師や公開療育の実施の際に、外部からの意見をもらう機会はある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・研修の機会を多く作って頂いている。	・職員自身がどのような研修を望んでいるのかをしっかりと把握し、自主的な選択・行動を促す為、意見を収集していく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			・長期目標・短期目標がニーズに合っていないケースも多々ある。客観的評価に不十分さが感じられるため、研修や支援会議等を通して修正を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			・個別支援計画書を基にご家族の要望・目標を明確にし、特に担当スタッフにおいては、要望や目標に対する成長や発達の程度が適切に捉えられるように体制作りを行っている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・保育士で案を立て、主任、児発管と内容検討している。	・チームでの立案を行っているが故に、業務としての線引きが分かりにくくなっていることは課題。個別活動、集団活動ともに、チームアプローチは進めながらも、業務としての線引きや役割分担は明確にしておく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・午後の支援の振り返りは次の日に行っている。 ・終了後は児童の対応もあり、翌日に振り返りを必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・集団活動に関してはケース会議を継続。 ・日々の記録については、PDCAサイクルによる記載を行っている。目的とした活動、これらに対する考察等を記入した上で、次回のplan作成を実施。一方で、支援者により支援の質や評価内容の程度にばらつきあり、研修会等通して全体の支援の質向上に努めている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○			・与えられた環境の中での支援が多い印象にはあるが、おやつをお金で購入する経験や自分が頑張って貯めたお金で買い物に行く機会を設けている。 ・また遊びの中では、自身で選択することを意識して関わっている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・保育所等訪問の実施、鹿児島大学病院や小児歯科と連携を図り、支援を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			・担当者会議や送迎時、保育所等訪問支援を活用し、情報の共有を行っている。学校側の受け入れ状況により対応は変わる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・就学前に状態を確認することが多い。	・就学前から利用している子供に関してはそのような情報共有は行っているが、就学後からの利用児に関しては、情報共有できていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・まだ学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行したケースがない。	・小集団活動（火・木曜）は原則小学3年生までを対象としている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・発達支援センターとの連絡会が3~4ヶ月に1回程度あり、情報の共有や助言等を頂いている。 ・連絡会には可能な限り積極的な参加を行っており、支援センターを中心として関連施設との交流関係も構築しつつある。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○				

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・私が知らないだけかもしれません。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家族会の実施	・今年度家族会が行えていない。来年2月に家族会を実施予定。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・今年度は開催ができていない。来年2月に保護者会を実施する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があまりない。	・苦情が言える環境にあるのか、再度見直しを行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・LINEですぐに連絡を取れる体制であるが、欠点(時間に関係なく連絡が来る)もあるため業務内での対応に留めるような体制作り。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・利用している子供の緊急連絡先に関するリストを再作成する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			・保護者と情報の共有を行いながら、職員全員で子供の現状について確認を行い、周知徹底している(薬の変更、てんかんの状況、対応)
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			・インシデント・ヒヤリハットは事例が発生したら直ちに背景・原因について考え、解決策を事業所内で検討し、再発を防ぐ取り組みを行っている。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・就職後間もないため分かりません。	・研修会への参加、事業所での研修会を実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			